

歴史と自然を満喫

サマーキャンプ富岡往還「鈴木三公の足あと」を訪ねて



▲富岡往還道を歩く参加者

7月18・19日、本町から富岡（苓北町）へ抜ける山道“富岡往還道”を歩き、江戸時代の偉人である鈴木三公（重成・正三・重辰）のゆかりの寺などを巡る『2015サマーキャンプ富岡往還「鈴木三公の足あと」を訪ねて』が開かれ、小学生など46人が参加しました。同往還道約17kmを歩いたほか、富岡海水浴場で海水浴などを実施。参加者は、天草の歴史と自然を満喫しました。

シーカヤックで天草上島一周を達成！

天草高校倉岳校シーカヤック体験航海



▲シーカヤックを漕ぐ生徒たち

天草高校倉岳校の1・2年生27人が、7月31日から8月2日までの3日間をかけて、シーカヤックで天草上島を1周しました。仲間との絆を深め自然への関心を高めようと、シーカヤック授業の集大成として9年ぶりに実施したものです。地元のえびすビーチを発着とし同島沿岸を巡る76kmを、2人乗りの3艇で1時間おきに漕ぎ手を交代しながら航海しました。2年の鳴川翔太さんは、「達成できてうれしかった」と笑顔を見せていました。

少年消防クラブ相互の親睦と融和を図る

天草地区少年消防クラブ親善球技大会



▲ソフトボール競技のようす

8月3日、河浦中央体育館と河浦総合運動場で「第10回天草地区少年消防クラブ親善球技大会」が開かれ、ビーチバレーとソフトボール競技に16チーム・177人が参加しました。天草地域幼少年婦人防火委員会が少年消防クラブ相互の親睦と融和を図ってもらおうと毎年開催しているもの。参加した子どもたちは、懸命にプレーし熱戦を繰り広げました。

御領石で“くまモン”をつくったよ！

「御領石」彫刻教室



▲彫刻に取り組む子どもたち

「御領石」で“くまモン”を作る彫刻教室が8月4日から同6日まで、市五和支所で開かれ、地元の小学生など17人が参加しました。御領まちづくり振興会が、特産の御領石に触れてもらおうと毎年夏休みに実施しているもの。子どもたちは御領石の会の会員から指導を受けながら、彫刻や色塗りに熱心に取り組み、完成したくまモンを見ると満足そうに笑顔を見せていました。

有明町の夏祭りに多くの人出

さざ波フェスタ2015



▲秀岳館高校和太鼓部による演奏のようす

「さざ波フェスタ2015」が7月19日、有明町のリップランドで開かれ、市内外から若者や家族連れなど1万8,000人が来場しました。同フェスタ実行委員会の主催で今年で21回目。ビーチでは魚の稚魚放流やサンドアート展示、ステージでは歌手のライブや太鼓の演奏など盛りだくさんの内容で実施。イベントの最後には海上花火が打ち上げられ、来場者から大きな歓声があがっていました。

市の花“はまぼう”を鑑賞

はまぼう祭り



▲はまぼうを鑑賞する子どもたち

市の花“はまぼう”の開花時期に合わせて7月11日から同18日まで、新和町のはまぼう群生地「第3回はまぼう祭り」が開かれました。期間中は500人が訪れ、ガイドの案内を受けながら黄色に咲き誇るはまぼうを鑑賞。同16日には新和小学校の6年生19人が自然体験学習を行ったほか、同18日には「スタンプラリーウォーク」も行われ、多くの人出でにぎわいました。

夏の“涼”を楽しむ

下田温泉夏まつり・夜市



▲ヨーヨーすくいを楽しむ子どもたち

「下田温泉夏まつり・夜市」が8月8日、天草町の下田温泉広場で開かれました。帰省者や観光客に同広場近くを流れる下津深江川の“涼”を楽しんでもらおうと、同まつり実行委員会が毎年実施しているもの。ヨーヨーやメダカすくい、射的などの催しのほか、ラムネの早飲み大会や豪華賞品が当たる抽選会も行われ、多くの来場者でにぎわっていました。

災害による断水に備えて

災害応急活動模擬訓練



▲バケツで水を運ぶ園児たち

災害で水道施設が被害を受けたときの、応急給水・復旧活動に関して協定を結んでいる市と天草市管工事業協同組合は8月8日、本渡町広瀬の大矢崎緑地公園で「第4回災害応急活動模擬訓練」を実施しました。台風の影響で配水管が切断し断水になったとの想定で、同組合から災害応急給水車が出動し復旧・給水訓練が行われ、大矢崎保育園の園児たちがバケツで水を運ぶなど、参加者は万一の災害に備えて真剣に取り組んでいました。